

丸山直文 CV

1964 新潟県生まれ、東京都在住

個展

2025	Upcoming exhibition at Keteleer Gallery (アントワープ、ベルギー) 「NO DATE」 シュウゴアーツ (東京)
2023	「HIRAKU Project Vol.14 丸山 直文 水を蹴る—仙石原—」 ポーラ美術館 (神奈川)
2022	「水を蹴る」 シュウゴアーツ (東京)
2018	「ラスコーと天気」 シュウゴアーツ (東京)
2017	「流」 ウソングギャラリー (大邱、韓国)
2013	「夜みる夢を構築できるか」 シュウゴアーツ (東京)
2012	「丸山直文展 —風をあつめて—」 E&C ギャラリー (福井)
2010	「透明な足」 シュウゴアーツ (東京)
2008	「丸山直文展—後ろの正面」 目黒区美術館 (東京)
2007	「Everyone has his day and some days last longer than others」 Galerie Lucy Mackintosh (ローザンヌ、スイス)
2005	「丸山直文—朝と夜の間」 シュウゴアーツ (東京)
2004	「丸山直文—Weather」 ガレリアミーシャ (高松)
2003	「丸山直文—時の温度：大きな水」 シュウゴアーツ (東京)
2002	「丸山直文展」 GALLERY ZERO (大阪) 「Naofumi Maruyama - Painting」 Thomas Erben Gallery (ニューヨーク、アメリカ) 「丸山直文展：missing」 ギャラリーとわーる (福岡)
2001	「NAOFUMI MARUYAMA - Tokyo, Toys & Stories」 Pruss & Ochs Gallery, Asian Fine Arts Berlin (ベルリン、ドイツ)
2000	「丸山直文展」 GALLERY ZERO (大阪) 「丸山直文—天空の光影」 ハヤカワマサタカギャラリー (東京)
1999	「NAOFUMI MARUYAMA - Temperierte Zeit」 アトリエ 村田&フレンズ (ベルリン、ドイツ)
1998	「丸山直文—時の温度」 佐谷画廊 (東京)
1996	「丸山直文—天空の光影」 ハヤカワマサタカギャラリー (東京) 「丸山直文 新作ペインティング」 佐谷画廊 (東京)
1995	「丸山直文展 Drawing」 ギャラリーとわーる (福岡) 「Naofumi Maruyama」 MAT (名古屋)
1994	「丸山直文展」 ギャラリーとわーる (福岡)
1993	「丸山直文展」 MAT (名古屋) 「丸山直文展 ドローイング」 なびす画廊 (東京)
1992	「丸山直文展」 モリスギャラリー (東京) 「丸山直文 新作展」 佐谷画廊 (東京) 「丸山直文展」 ギャラリーとわーる (福岡) 「丸山直文展」 胡椒亭 (東京)
1991	「丸山直文展」 村松画廊 (東京) 「丸山直文—PINTING」 INAX ギャラリー2 (東京)

ShugoArts

1990	「丸山直文展」青山ギャラリー（東京）
------	--------------------

主なグループ展

2025	「ShugoArts Show—スプラウト」シュウゴアーツ（東京） 「いま私とともにあるもの—美術の中の‘ひと’とその‘周り’」ベルナール・ビュフェ美術館（静岡）
2024	「カラズ — 色の秘密にせまる 印象派から現代アートへ」ポーラ美術館（神奈川） 「川端龍子+高橋龍太郎コレクション ファンタジーの力」大田区立龍子記念館（東京） 「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京） 「開館40周年記念 秘密の花園—いわき市立美術館所蔵品展」いわき市立美術館（福島）
2023	「アーバン山水β」kudan house（東京） 「GROUND3 絵画のふつう—ふつうの絵画」アートラボあいち（名古屋）
2022	「DOMANI・明日展 2022-23」国立新美術館（東京）
2021	「眼差しに熱がこぼれる」（都美セクション グループ展 2022）東京都美術館（東京） 「Next World—夢みるチカラ タグチ・アートコレクション×いわき市立美術館」いわき市立美術館（福島） 「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京）
2020	「開館25周年記念コレクション展 VISION DISTANCE いま見える景色」豊田市美術館（愛知） 「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京） 「絵画のミカタ—5人のアーティストとみる群馬県立近代美術館のコレクション」群馬県立近代美術館（群馬） 「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京）
2019	「タグチ・アートコレクション 球体のパレット」札幌芸術の森美術館（北海道） 「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京） 「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京） 「百年の編み手たち—流動する日本の近現代美術—」東京都現代美術館（東京）
2018	「モネ それからの100年」名古屋市美術館（愛知）／横浜美術館（神奈川） 「高松市美術館コレクション + 木村忠太とこぼれる光の中で」高松市美術館（香川） 「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京）
2017	「アートのなぞなぞ—高橋コレクション展」静岡県立美術館（静岡） 「東京藝術大学 日本画第一研究室 発表展」東京藝術大学美術館（東京） 「鉄道絵画発→ピカソ行き コレクションのドア、ひらきます」東京ステーションギャラリー（東京） 「シュウゴアーツショー 1980年代から2010年代まで」シュウゴアーツ（東京） 「GROUND α Collaborative Drawing—ぼくの土地にみんなで家を建てた」NADiff Gallery（東京）
2016	「GROUND2 絵画を語る—見方を語る」武蔵野美術大学美術館図書館（東京） 「身も心も！現代アートに恋い焦がれて」大分県立美術館（大分） 「幻想へのいざない あけてみよう、芸術館のふしぎの扉」北海道立釧路芸術館（北海道）
2015	「北陸新幹線開業記念 お召列車と鉄道名画 ～東日本鉄道文化財団所蔵作品を中心に～」富山県水墨美術館（富山） 「ミラー・ニューロン 高橋コレクション展」東京オペラシティアートギャラリー（東京） 「モダン百花繚乱・大分世界美術館」大分県立美術館（大分） 「シュウゴアーツ： 毎週末の画廊、三宿 SUNDAYの隣」シュウゴアーツ ウィークエン

ShugoArts

	ドギャラリー（東京）
2014	「絵画の輪郭」シュウゴアーツ（東京） 「GROUND」愛知県立芸術大学サテライトギャラリー（愛知） 「ニイガタ・クリエーション—美術館は生きている」新潟市美術館（新潟）
2012	「キュレーターからのメッセージ 2012 現代絵画のいま」兵庫県立美術館（兵庫） 「Relation: 継がれるもの—語りえぬもの」武蔵野美術大学美術館・図書館（東京） 「庭をめぐれば」ヴァンジ彫刻庭園美術館（静岡） 「DOMANI・明日展」国立新美術館（東京）
2011	「Pathos and Small Narratives: Japanese Contemporary Art」Gana Art Gallery（ソウル） 「People don't do such things !」Gallery Lusy Mackintosh（ローザンヌ、スイス）
2010	「椿会展2010 Trans-Figurative」資生堂ギャラリー（東京） 「Living with art—Contemporary Art from Japan and Taiwan」Yi & C. Contemporary Art space（台北、台湾）
2009	「現代美術のクラシック 1945-」新潟県立近代美術館（新潟） 「結びあう影」ヴァンジ彫刻庭園美術館（静岡） 「椿会展2009 Trans-Figurative」資生堂ギャラリー（東京） 「美術館に行こう！ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」埼玉県立近代美術館（埼玉）
2008	「ネオテニー・ジャパン—高橋コレクション」鹿児島県霧島アートの森（鹿児島）札幌芸術の森美術館（北海道）、上野の森美術館（東京）、新潟県立近代美術館（新潟）、秋田県立近代美術館（秋田）、米子市美術館（鳥取）、愛媛県美術館（愛媛）巡回 「TAMA VIVANT II 2008 イメージの種子 美術が発芽するとき」多摩美術大学（東京） みなとみらい駅地下3階コンコース（横浜） 「椿会展2008 Trans-Figurative」資生堂ギャラリー（東京） 「越後の花鳥風月」まつだい「農舞台」ギャラリー（新潟） 「Comme des betes. Ours, cochon, chat & Cie」Musee cantonal des Beaux-Arts（ローザンヌ） 「画家たちの青春」新潟県立近代美術館（新潟）
2007	「『現代絵画の展望』展—それぞれの地平線」Breakステーションギャラリー／旧新橋停車場鉄道歴史展示室（東京） 「Everybody has his day and some days last longer than others」Galerie Lucy Mackintosh（ローザンヌ、スイス） 「水のかたち」茨城県立近代美術館（水戸） 「水の情景—モネ、大観から現代へ」横浜美術館（横浜） 「美術館に行こう！-ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」ビュフェ美術館（静岡） 「ポートレート・セッション」広島市現代美術館（広島） 「ポートレート・セッション @ナディッフ」ナディッフ本店（東京） 「「森」としての絵画：「絵」のなかで考える」岡崎市美術博物館（愛知） 「DOMANI・明日 2007」損保ジャパン東郷青児美術館（東京）
2006	「絵をかく人々のチャリティー展 2006」ギャラリーかれん（神奈川） 「ベルリン—東京」Neue Nationalgalerie（ベルリン、ドイツ） 「MOT コレクション あなたのいるところ／コラージュの世界」東京都現代美術館常設展示室（東京）
2005	「西から東から」シュウゴアーツ（東京）

ShugoArts

	「A MUSE LAND 2006 Sweet Memories」 北海道立近代美術館（北海道） 「Skisport in der bildenden Kunst」 Schloss Mainau, Insel Mainau（ドイツ） 「ユートピアを探しに—想像力の彼方へ」 新潟県万代島美術館（新潟） 「summer show」 シュウゴアーツ（東京） 「秘すれば花—東アジアの現代美術」 森美術館（東京） 「光と影の彼方に—まなざし・記憶・希望」 北海道立釧路芸術館（北海道） 「Le invasioni barbariche」 Galleria Continua（サン・ジミニャーノ、イタリア）
2004	「絵をかく人々の集い展 2」 ギャラリーかれん（神奈川） 「TAKE OUT COLLECTION 2004」 青山スパイラル（東京） 「開館記念 モダン・マスターズ&コレクション」 金沢 21 世紀美術館（金沢） 「You will never walk allone」 Kunst und Sport（ドイツ） 「新潟の作家 100人展—新潟の美術 2004」 新潟県万代島美術館（新潟） 「ギャラリーからの提案」 シュウゴアーツ（東京）
2003	「セカイノミカタ」 ギャラリー覚（東京） 「Der Rest der Welt」 Neuffer am Park（ピルマゼンス、ドイツ） 「ギャラリーからの提案」 シュウゴアーツ（東京） 「絵をかく人々の集い展」 ギャラリーかれん（神奈川） 「ハピネス：アートにみる幸福への鍵」 森美術館（東京） 「SILVER LINE」 桜華書林（長野） 「PAINTINGS」 シュウゴアーツ（東京） 「PAPER WORKS」 シュウゴアーツ（東京） 「いろ・かたち・さまざまな表現」 新潟県立万代島美術館（新潟） 「ギャラリーオープン展」 シュウゴアーツ（東京） 「DOMANI・明日」 損保ジャパン東郷青児美術館（東京）
2002	「2002 台北ビエンナーレ：世界劇場」 台北市立美術館（台北、台湾） 「現代日本の水彩表現—にじみ、ぼかし、重ね、線」 渋谷区立松濤美術館（東京） 「ベストセクションⅡ〜夢のつづき〜」 マサシ・ヤマギャラリー（東京）
2001	「グローバルヴィジョン—1980 年以降の美術」 東京都現代美術館（東京） 「GALLERY'S DEBUT」 RICE GALLERY by G2（東京）
2000	「Junge Kunst aus Tokyo und ihre Peripherie」 Prüss & Ochs Gallery / Asian Fine Arts Berlin（ベルリン、ドイツ） 「CONTINENTAL SHIFT」 ルートヴィヒ・ファーラム（アーヘン、ドイツ）他 「artists of the gallery」 Murata & Friends（ベルリン、ドイツ） 「22人のアーティストによる佐谷画廊・銀座クロージングショー」 佐谷画廊（東京） 「-scape：丸山直文 前沢知子 畠山直哉」 ハヤカワマサタカギャラリー（東京）
1999	「KÜNSTLER FÜR KINDER」 ベルリン・ユダヤ博物館（ベルリン、ドイツ） 「Painting for Joy: New Japanese Painting in 1990s」 国際交流フォーラム（東京）他世界巡回 「Y's collection—RURE」 TIME & STYLE（東京） 「Berlin - Tokyo, Tokyo - Berlin」 （with Michaela Drenhaus）Galerie Atelieretage Oberschöneneweide（ベルリン、ドイツ） 「MOT アニュアル1999 ひそやかなラディカリズム」 東京都現代美術館（東京）
1998	「第15回平行芸術展：イメージ・ストーリー」 エスパスOHARA（東京） 「Photo: Maria Eichhorn 丸山直文 Joseph Grigely」 ハヤカワマサタカギャラリー（東京） 「アート／生態系：美術表現の『自然』と『制作』」 宇都宮美術館（栃木）
1996	「写楽再見」 国際交流基金フォーラム（東京）他世界 巡回

ShugoArts

	「女性の肖像—日本現代美術の顔」渋谷区立松濤美術館（東京） ハヤカワマサタカギャラリー（東京） 「ダイエットする芸術 アーティストによる 100 点の腕時原画展」JR 大阪セルヴィスギャラリー（大阪） 「TOYAMA NOW '96：第 6 回富山国際現代美術展」富山県立近代美術館（富山） 「匍匐は跳躍—creeping is leaping」なびす画廊（東京） 「COLLECTION NW - painting」ギャラリー NW ハウス（東京）
1995	「視ることのアレゴリー 1995：絵画・彫刻の現在」セゾン現代美術館（東京） 「SEVEN PAINTER'S WORKS」ギャラリーKURANU-KI（大阪）
1994	「横浜・上海友好都市提携20周年記念 横浜現代美術展～横浜之風」上海美術館（上海、中国） 「絵画の構造—思考する色彩」文房堂ギャラリー（東京） 「TAMA VIVANT '94」多摩美術大学（東京） 「5人展」MAT（名古屋） 「アジアの創造力」広島市現代美術館（広島） 「斉藤記念川口現代美術館会館記念コレクション展 Part2」斉藤記念川口現代美術館（埼玉） 「よこはまの作家たち'94—冒険する表現—」横浜市民ギャラリー（横浜） 「館勝生・丸山直文展」ギャラリー白（大阪） 「現代美術の展望 VOCA展'94-新しい平面の作家たち」上野の森美術館（東京） 「第8回インドトリエンナーレ」National Academuy of Art（ニューデリー、インド） 「金曜日のまれ女たち その3」なびす画廊（東京） 「Dialogue」ギャラリー NW ハウス（東京）
1993	「Contemporary Paintings from Singapore and Japan」国際交流基金 ASEANカルチャーセンター（東京） 「第12回平行芸術展 全面展開期の絵画—II イメージのついで」エスパス OHARA（東京） 「大野浩志・丸山直文 二人展」MAT（名古屋） 「アブソリュート・ビギナーズ展」ギャラリー16（京都） 「丸山直文・児玉靖枝二人展」ギャラリーKuranuki（大阪）
1992	「ドローイング倉庫展」ヒルサイドギャラリー（東京） 「表層の冒険 vol.3 丸山直文」モリスギャラリー（東京） 「TEMPVS VICTUM—MTM コレクションの 80 年代」エスパス OHARA（東京） 「現代美術への視点：形象のはざまに」東京国立近代美術館（東京）／国立国際美術館（大阪） 「絵画の展望 Part3」ギャラリー古川（東京） 「第1回トランスアート・アニュアル『ペインティング／クロッシング』展」横浜ガレリアベリニーの丘ギャラリー（神奈川） 「some aspects of painting」ギャラリー白（大阪）
1991	「The Changing Present Painting as Prescription」青山ギャラリー（東京） 「三人展」青山ギャラリー（東京） 「未来のクロニクル」メモリーズギャラリー（愛知） 「色相の詩学展—現代絵画・平面からのメッセージ」川崎市民ミュージアム（神奈川） 「おぼつかなさの現在—自己規定性の絵画」青山ギャラリー（東京） 「ドローイング倉庫展」ヒルサイドギャラリー（東京）

ShugoArts

1990	「アートフェスティバル MITO・10月展」水戸芸術館現代美術センター（茨城） 「Bゼミ展—市民ギャラリー」横浜市民ギャラリー（神奈川）
1989	「常設展」ヒルサイドギャラリー（東京） 「Bゼミ展—「B」」横浜市民ギャラリー（神奈川） 「HB Show」ギャラリー現（東京）
1988	「Bゼミ展—ガンガン」横浜市民ギャラリー（神奈川）

受賞

2008	芸術選奨文部科学大臣新人賞
------	---------------

パブリックコレクション

北海道立釧路市美術館（北海道）
いわき市立美術館（福島）
群馬県立近代美術館（群馬）
国際交流基金（東京）
東京国立近代美術館（東京）
東京都現代美術館（東京）
東京ステーションギャラリー（東京）
ポーラ美術館（神奈川）
新潟県立近代美術館（新潟）
新潟市美術館（新潟）
金沢 21 世紀美術館（石川）
ヴァンジ彫刻庭園美術館（静岡）
資生堂アートハウス（静岡）
豊田市美術館（愛知）
国立国際美術館（大阪）
高松市美術館（香川）
北九州市立美術館（福岡）
大分県立美術館（大分）
UBS 銀行

出版

2019	丸山直文「絵の下にあるもの」、『絵画組成 絵具が語りはじめるとき』武蔵野美術大学出版局
2008	「丸山直文全作品集 1988-2008」求龍堂
2007	「丸山直文作品集 Naofumi MARUYAMA: go out go home」リトル・モア